

世田谷を歩く

紅葉



紅葉の見ごろはちょうど今、11月～12月です。
今回は世田谷で楽しめる「紅葉スポット」をご紹介します。

① 成城学園前

世田谷百景にも選ばれている成城学園の正門前から西に延びているいちよう並木が、見事な黄色のトンネルを作ります。

① 成城学園前

② 豪徳寺

通りかかった井伊直孝を猫が寺の山門から招き入れ落雷の災いから救ったとされ、招き猫発祥の地といわれている寺。秋は、境内に楓を見に来る人でたいへん賑わいます。

③ 森巖寺 (しんげんじ)

代沢にある江戸時代初期建立のお寺で、境内には、2月8日の針供養とお灸で有名な淡島神社と、樹齢400年の一對の大いちょうがあります。

⑤ 用賀いらか道

瓦が敷き詰められた散策路「いらか道」の両側はカエデの木が多く、紅葉のトンネルになります。道に埋めこまれた百人一首の句を読みながら歩くのも楽しみです。

⑥ 満願寺

等々力不動尊を別院とする満願寺。「一言祈願すると願いが叶う」といわれている金色の一言地蔵が有名です。

⑦ 静嘉堂緑地

三菱財閥の第二代社長岩崎弥之助と小弥太親子が収集した古典籍、古美術品(国宝7点・重文82点)を展示している静嘉堂文庫付近の岡本静嘉堂緑地一帯の丘は、「岡本もみじが丘」と呼ばれています。自然のままの姿を色濃く残しており、都内に居ることを忘れさせくれます。

⑧ 等々力溪谷

等々力溪谷は、谷沢川の下流約1.2Kmの自然豊かな都内で唯一の溪谷です。大通りが近いにも関わらず川の音や鳥の声を楽しめる散策路になっています。秋には等々力不動尊周辺にあるカエデやイチヨウが色づき、都内に居ながら紅葉狩りが楽しめます。

⑨ 九品仏浄真寺

九品仏といえば9体の阿弥陀如来像が有名ですが、敷地内には都の天然記念物に指定されている大銀杏があります。その銀杏が散り、黄色の落葉が地面を厚く覆う頃に、境内や参道の他の木々が紅葉の見頃を迎えます。

